

# 上宮寺通信

第十号

## 人生に無駄はない

長い人は10連休だった今年のゴールデンウィーク。皆さんはどう過ごされたでしょうか。

私は日帰りでしたけれども、次男が大学生活を送る京都に行ってきた。一年ぶりに訪れた次男の部屋は、本人は「掃除をした」と言っていました。まさに学生の部屋という感じ。部屋の机には勉強道具らしいものがある。見当たらず、本当に勉強しているのかと心配になりました。まあ、自身の学生時代も息子のことをあれこれ言えるような生活をしていませんでしたが…。

いまの学生は私たちの時代と

は違ってレポートや調べものなどはパソコンが中心。さらに休講など学校の情報はスマホで見られ、パソコン、スマホが必携ということでした。

昔を懐かしむわけではありませんが、あと少しでレポートが仕上がるというときに誤字脱字を発見したときの悲しみ、学校に行って休講の貼り紙があったときの何とも言えない喜びを、いまの学生は知らないのです。

学生だけでなく、現在はパソコンやスマホが普及して、人間があれこれ考えなくても瞬時に最適な情報が得られる社会になりました。そして社会は驚くべきスピードで歩み続けています。ですから、無駄なものをはぶく合理性こそが、いまの社会

には求められているのです。

しかし、世の中はそんな単純なものではありません。特に人生を考えたときに壁にぶつかり自分が思い描いたように生きていくことのできない場面に遭遇します。それを無駄と感ずるのでしょうか。

ドイツの文豪ヘルマン・ヘッセは「人生を明るく思う時も、暗く思う時も私は決して人生をのしるまい。日の輝きと暴風雨とは同じ空の違った表情に過ぎない。運命は甘いものにせよ、苦いものにせよ、好ましい糧として役立てよう」と詩を書いています。

何があるかと私の人生。人生には無駄がないといただいでいく。これは仏教にも通じるもの

があります。すべてが私を成長させるためのご縁であるのです。いつけん無駄に思えるようなことから気づくことがあります。それが人生の糧になるのです。

人生に無駄はないと教えられるのですが、息子の部屋を見ると無駄なものばかりあるなあ。ちよつと心配になってしまいう。ゴールデンウィークの出来事でした。



◆行事案内

上宮寺の行事

6月23日(日)

上宮寺講

時間:午後二時~

7月23日(火)

上宮寺講

時間:午後二時~

おつとめのけいこ

7月19日(金)~24日(水)

午後六時~七時

(最終日は午後五時~)

対象:幼稚園児・小学生・中学生

会費:500円

皆さまのご参詣・ご参加をお待ち  
しています。

その他の行事

尾張講習会

期日:7月1日(月)~5日(金)

時間:午後二時~午後五時

場所:名古屋教務所(東別院内)

1日(月)~3日(水)

「安楽集講要」

木村宣彰(大谷大学名誉教授)

4日(木)

「格義仏教と中国仏教」

中村薫(二宮市養蓮寺前住職)

5日(金)

「みんながつくるみんなの学校」

木村泰子(大空小初代校長)

※どなたでも参加できます。



◆話題あれこれ

○5月14~15日の山梨・親鸞聖人  
ご旧跡めぐりには12名の方にご参  
加いただきました。ありがとうございました。

○夏休みに入っすぐ子どもた  
ちを対象に『正信偈』の稽古をす  
る「おつとめのけいこ」を開催し  
ます。今年で41回目となります。  
たくさん子どもたちが参加して  
くれて、そのパワーにはいつも圧  
倒されます。

○東本願寺から経常費三十年連続  
完納の表彰状と記念の畳袷袋をい  
ただきました。毎年、本山へ経常  
費を納めることができるのは、皆  
さまが上宮寺を護持していただい  
ているおかげです。これからもよ  
ろしく願います。

【雑感】

3月に車を買いました。今  
度の車は安全性能に優れた車で、  
衝突防止はもちろんのこと、設定  
すれば高速道路などでは前の車に  
合わせて走ってくれます。前の車  
がスピードを落とすと自分の車も  
スピードを落とすしてくれる。ノロ  
ノロと走っていて前の車が停まっ  
てしまったら、自分の車も停まる。  
そして動き出すと自分の車も動く  
のです。最初は少し怖かったので  
すが、慣れてしまえば、渋滞は本  
当に運転が楽でした。しかし、そ  
の反面、集中力もなくなりがちに。  
最近では交通事故のニュースが多い  
だけに、気を付けないといけませ  
んね。(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金一丁目十九番十五号

☎052-871-0547